

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2001-119521(P2001-119521A)

【公開日】平成13年4月27日(2001.4.27)

【出願番号】特願平11-293492

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

B 65 H 1/26 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 1 0 8 C

B 65 H 1/26 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月24日(2006.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一対の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレーと、を具備することを特徴とする画像記録装置。

【請求項2】 読み取手段を有するベース部と、上面に操作パネルを有し閉位置において前記ベース部との間に紙の搬送路を形成するとともに前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一対の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき後方に移動する前記突出部に連動して装置設置面に略垂直な状態に移動する記録紙トレーと、を具備することを特徴とする画像記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一対の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレーと、を具備する構成としたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【発明の実施の形態】

本発明の第1の態様に係る画像記録装置は、ベース部と、前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一対の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき前記突出部と共に後方に移動する記録紙トレーと、を具備する構成を採る。

本発明の第2の態様に係る画像記録装置は、読み取り手段を有するベース部と、上面に操作パネルを有し閉位置において前記ベース部との間に紙の搬送路を形成するとともに前記ベース部の後面側の端部に設けられた軸を支点として前記ベース部に対し開閉自在な開閉部と、前記開閉部から後方に突出した一対の突出部を軸受けとして前記開閉部に対して回動可能に軸支され、前記開閉部を開いたとき後方に移動する前記突出部に連動して装置設置面に略垂直な状態に移動する記録紙トレーと、を具備する構成を採る。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

これらの構成によれば、装置本体のベース部の背面部近傍を支点にして開閉する開閉部から突出した突出部に設けられた軸を支点として記録紙トレーが回動するため、記録紙トレーを取り付けたままでも開閉部と干渉することなく開閉部の開閉動作に連動して記録紙トレーも後方に移動することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】